SoftBank

グリーン購入法　基本方針対応状況

© SoftBank Corp. All rights reserved.

グリーン購入法　基本方針対応状況

1.1

ソフトバンクの「グリーン購入法 基本方針（平成27年 2月3日変更閣議決定）」の対応は本ページ「グリーン購入法 基本方針対応状況」の「1.1 ～ 5.5.2」の通りとなっております。

※基本方針は、5つの「判断の基準」と6つの「配慮事項」から構成されています。

判断の基準①	対応
①　携帯電話又はPHSにあっては、ア又はイのいづれかの要件を満たすこと。 ア. 搭載機器・機能の簡素化がなされていること イ. 機器本体を交換せずに、端末に搭載するアプリケーションのバージョンアップが可能となる取組がなされていること ※「搭載機器・機能の簡素化」とは、可能な限り通話及びメール機能等に限定することとする。	・ソフトウェア更新への対応 対応機種に関しては、ネットワークを利用してソフトウェア更新が必要かどうかを確認して、必要なときには更新ができます。 ・環境配慮設計の実施 機種毎の環境配慮設計の実施状況につきましては、「メーカー別詳細項目（5.1.1～5.5.2）」をご参照ください。同内容は、弊社ウェブサイトにも掲示しております。 http://mb.softbank.jp/biz/green/ ※通話・メール機能に限定している対応機種はございません

判断の基準②	対応
②分解が容易である等部品の再使用又は材料の再生利用のための設計上の工夫がなされていることなど、表に掲げる評価基準に示された環境配慮設計がなされていること。環境配慮設計の実施状況については、その内容がウェブサイトをはじめ環境報告書等により公表され、容易に確認できること。 ※判断の基準②については、表の評価項目ごとに評価基準に示された環境配慮設計がなされていることを指す。	

© SoftBank Corp. All rights reserved.

グリーン購入法　基本方針対応状況

2.1

判断の基準③	対応
③使用済製品の回収およびマテリアルリサイクルのシステムがあること。 回収及びマテリアルリサイクルのシステムについては、取組効果の数値が製造事業者、通信事業者又は販売事業者等のウェブサイトをはじめ環境報告書等により公表され、容易に確認できること。 ※判断の基準③の「回収及びマテリアルリサイクルのシステムがあること」とは、次の要件を満たすことをいう。 回収のシステムについては、次の要件ア、イ及びウを満たすこと。 ア．製造事業者又は販売事業者が自主的に使用済みの製品等を回収（自ら回収し、又は他の者に委託して回収することをいう。複数の事業者が共同して回収することを含む。）するルート（販売店における回収ルート、使用者の要請に応じた回収等）を構築していること。 イ．回収が適切に行われるよう、製品本体に製品名及び事業者名（ブランド名なども可）が廃棄時に見やすく記載されていること。 ウ．製品の包装、同梱される印刷物、製品本体の取扱説明書又はウェブサイトのいずれかでユーザに対し使用済製品等の回収に関する具体的な情報（回収方法、回収窓口等）の提供がなされていること。 マテリアルリサイクルのシステムについては、 次の要件エ及びオを満たすこと。 エ．金属やプラスチック等を材料としてリサイクルするための取組がなされていること。 オ．部品の素材情報については、廃棄時に分別が容易なよう可能な限り記載されていること。	・リサイクルルートの整備構築 「モバイル・リサイクル・ネットワーク」の活動を通じて、リサイクルの推進に努めております。 ■モバイル・リサイクル・ネットワーク　ホームページ http://www.mobile-recycle.net/gaiyo/index.html ■ソフトバンク　ホームページ http://www.softbank.jp/corp/csr/future/instance_04/contents_03/ ・移動電話本体への製品名、ブランド名の表示 対応機種に関しては、本体もしくは銘板（電池パックを外した本体側）に製品名、ブランド名が記載されています。 ・使用済み移動電話等の回収に関する具体的な情報の提供 弊社ホームページで、ソフトバンクショップまたはモバイル・リサイクル・ネットワーク加盟店での使用済み移動電話等の回収、リサイクルの流れ、注意点などについてご説明しています。 ■ソフトバンク　ホームページ http://www.softbank.jp/corp/csr/future/instance_04/contents_03/ ・金属やプラスチックのリサイクル取組み 回収した使用済み移動電話等は、本体、電池パック、充電器等に適切に分別し、リサイクルを行っています。 ・部品の素材情報 本体、電池パック、充電器については、回収窓口にお持ちいただくだけで、適切に分別を行いますので、お客様に素材情報を意図いただく必要はありません。また箱等については、容器包装リサイクル法に基づき、適正な表示を行っています。 ・取組効果の数値公表 移動電話等のリサイクル実績は、モバイル・リサイクル・ネットワークのホームページで公表されています。また、弊社ホームページにて回収台数を公表しています。 ■モバイル・リサイクル・ネットワーク　ホームページ http://www.mobile-recycle.net/gaiyo/index.html ■ソフトバンク　ホームページ http://www.softbank.jp/corp/csr/future/instance_04/contents_03/

© SoftBank Corp. All rights reserved.

グリーン購入法　基本方針対応状況

3.1

判断の基準④	対応
④回収した製品の部品の再使用又は再生利用できない部分については、製造事業者、通信事業者又は販売事業者において適正処理されるシステムがあること。	・適正処理されているシステムについて 貴重な金属資源である金、銀、銅、パラジウムなどを再生し、電子機器等に再使用します。 また、リサイクル工程から生じた残りはセメント原料として、プラスチックについては補助燃料として適正処理するシステムを有しています。

判断の基準⑤	対応
⑤バッテリー等の消耗品について、製造事業者、通信事業者又は販売事業者において修理するシステム、及び更新するための部品を保管するシステムがあること（製品製造終了後6年以上保有）。 ※判断の基準⑤については、通信システムの切替等にともない、当該機器が継続的に使用できない場合にあっては、「製品製造終了後6年以上保有」は適用しないものとする	・保管システム 対応機種については、補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期限が、生産打ち切り後6年となっております。 ※本内容は購入時に同梱されている保証書に記載されております。

判断の基準⑥	対応
⑥特定の化学物質が含有率基準値を超えないこと。また、当該化学物質の含有情報がウェブサイトで容易に確認できること。 ※「特定の化学物質」とは、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、カドミウム及びその化合物、六価クロム化合物、ポリブロモビフェニル並びにポリブロモジフェニルエーテルをいう。 ※特定の化学物質の含有率基準は、JIS C 0950:2008（電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法）の附属書Aの表A.1（特定の化学物質、化学物質記号、算出対象物質及び含有率基準値）に定める基準値とし、基準値を超える含有が許容される項目については、上記JISの附属書Bに準ずるものとする。なお、その他付属品等の扱いについてはJIS C 0950:2008に準ずるものとする。	・特定化学物質の含有情報 対応機種については、特定化学物質の含有基準値を超えておりません。

© SoftBank Corp. All rights reserved.

グリーン購入法　基本方針対応状況

4.1

配慮事項①	対応
①製品の省電力化や充電器の待機時消費電力の低電力化等による省エネルギー化がなされていること。	・機種毎の対応状況につきましては、「メーカー別詳細項目（5.1.1 ～5.5.2）」をご参照ください。

配慮事項②	対応
②筐体又は部品に希少金属類が使用されている場合、希少金属類を可能な限り減量または代替する取組がなされていること。 ※「希少金属類」とは、昭和59年8月の通商産業省鉱業審議会レアメタル総合対策特別小委員会において特定された 31鉱種（希土類は 17元素を1鉱種として考慮）の金属をいう。	・機種毎の対応状況につきましては、「メーカー別詳細項目（5.1.1～5.5.2）」をご参照ください。

配慮事項③	対応
③機器本体や消耗品以外の部品についても、修理するシステム、及び更新するための部品を保管するシステムがあること。	・可能な限り円滑に供給できるよう、ソフトバンクにて在庫管理されております。

配慮事項④	対応
④筐体部分におけるハロゲン系難燃剤の使用が可能な限り削減されていること。	・機種毎の対応状況につきましては、「メーカー別詳細項目（5.1.1～5.5.2）」をご参照ください。

© SoftBank Corp. All rights reserved.

グリーン購入法　基本方針対応状況

配慮事項⑤	対応
⑤筐体又は部品（充電器含む。）にプラスチックが使用される場合には、再生プラスチックが可能な限り使用されていること。 ※「再生プラスチック」とは、製品として使用された後に廃棄されたプラスチック及び製造工程の廃棄ルートから発生するプラスチック端材又は不良品を再生利用したものをいう（ただし、原料として同一工程内で再生利用されるものは除く。）。	・機種毎の対応状況につきましては、「メーカー別詳細項目（5.1.1～5.5.2）」をご参照ください。

配慮事項⑥	対応
⑥製品の包装又は梱包は、可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄時の負荷低減に配慮されていること。	・機種毎の対応状況につきましては、「メーカー別詳細項目（5.1.1～5.5.2）」をご参照ください。

配慮事項⑦	対応
⑦包装材等の回収及び再使用又は再生利用のためのシステムがあること。	・機種毎の対応状況につきましては、「メーカー別詳細項目（5.1.1～5.5.2）」をご参照ください。

© SoftBank Corp. All rights reserved.

メーカ別詳細項目

5.1.1

シャープ株式会社（1）

判断の基準①：環境配慮設計の実施状況（1／2）

目的	評価項目	108SH	202SH	202SH for Biz	301SH
リデュース配慮設計	製品等の省資源化	◎	◎	◎	◎
	製品の省電力化	◎	◎	◎	◎
	製品の長寿命化	◎	◎	◎	◎
リユース配慮設計	共有化設計	◎	◎	◎	◎
	分離・分解しやすい設計	◎	◎	◎	◎
リサイクル配慮設計	リサイクル等の環境負荷低減	◎	◎	◎	◎
	分離・分解しやすい構造	◎	◎	◎	◎
	分別の容易性	◎	◎	◎	◎

判断の基準①：環境配慮設計の実施状況（2／2）

目的	評価項目	AQUOS CRYSTAL	シンプルスマホ2	AQUOS Xx	AQUOS CRYSTAL 2
リデュース配慮設計	製品等の省資源化	◎	◎	◎	◎
	製品の省電力化	◎	◎	◎	◎
	製品の長寿命化	◎	◎	◎	◎
リユース配慮設計	共有化設計	◎	◎	◎	◎
	分離・分解しやすい設計	◎	◎	◎	◎
リサイクル配慮設計	リサイクル等の環境負荷低減	◎	◎	◎	◎
	分離・分解しやすい構造	◎	◎	◎	◎
	分別の容易性	◎	◎	◎	◎

© SoftBank Corp. All rights reserved.

メーカ別詳細項目

シャープ株式会社（2）

配慮事項①：省エネルギー化について

省電力化等を推進しております。

配慮事項②：希少金属類の削減について

対応機種については、希少金属類を可能な限り削減しております。

配慮事項④：ハロゲン系難燃剤の削減について

対応機種については、ハロゲン系難燃剤は使用しておりません。

配慮事項⑤：再生プラスチックの使用

一部対応機種の卓上ホルダーについては、「植物性プラスチック」を使用しております。

配慮事項⑥：包装に関する配慮

包装軽量化設計を推進しております。

配慮事項⑦：包装材等の再使用について

対応機種については、容器包装リサイクル法に準拠した対応を行い記載も行っております。

© SoftBank Corp. All rights reserved.

メーカ別詳細項目

5.2.1

パナソニックモバイルコミュニケーションズ株式会社（1）

判断の基準①：環境配慮設計の実施状況

目的	評価項目	COLOR LIFE 5
リデュース配慮設計	製品等の省資源化	◎
	製品の省電力化	◎
	製品の長寿命化	◎
リユース配慮設計	共有化設計	◎
	分離・分解しやすい設計	◎
リサイクル配慮設計	リサイクル等の環境負荷低減	○*1
	分離・分解しやすい構造	◎
	分別の容易性	◎

*1：希少金属31種は一部のみの把握となっております。

© SoftBank Corp. All rights reserved.

メーカ別詳細項目

パナソニックモバイルコミュニケーションズ株式会社（2）

配慮事項①：省エネルギー化について

省電力化等を推進しております。

配慮事項②：希少金属類の削減について

希少金属類を可能な限り削減しております。

配慮事項④：ハロゲン系難燃剤の削減について

ハロゲン系難燃剤の削減を推進しております。

配慮事項⑤：再生プラスチックの使用

一部対応機種の卓上ホルダーについては、「再生ABS材」を使用しております。

配慮事項⑥：包装に関する配慮

包装軽量化設計を推進しております。

配慮事項⑦：包装材等の再使用について

対応機種については、容器包装リサイクル法に基づくリサイクルマークを表示しています。

© SoftBank Corp. All rights reserved.

メーカ別詳細項目

5.3.1

京セラ株式会社（1）

判断の基準①：環境配慮設計の実施状況

目的	評価項目	DIGNO® U
リデュース配慮設計	製品等の省資源化	◎
	製品の省電力化	◎
	製品の長寿命化	◎
リユース配慮設計	共有化設計	◎
	分離・分解しやすい設計	◎
リサイクル配慮設計	リサイクル等の環境負荷低減	○*1*2
	分離・分解しやすい構造	○*2
	分別の容易性	◎

*1：希少金属31種は一部のみの把握となっております。
*2：インサート成形キャビネットを採用しております。

© SoftBank Corp. All rights reserved.

メーカ別詳細項目

5.3.2

京セラ株式会社（2）

配慮事項①：省エネルギー化について
省電力化等を推進しております。

配慮事項②：希少金属類の削減について

対応機種については、希少金属類を可能な限り削減しております。

配慮事項④：ハロゲン系難燃剤の削減について

ハロゲン系難燃剤の削減を推進しております。

配慮事項⑤：再生プラスチックの使用

現在は強度の問題から未使用ですが、使用を推進しております。

配慮事項⑥：包装に関する配慮

包装軽量化設計を推進しております。

配慮事項⑦：包装材等の再使用について

対応機種については、包装材に再生材料を可能な限り使用しております。

© SoftBank Corp. All rights reserved.

メーカ別詳細項目

5.4.1

ZTEジャパン株式会社（1）

判断の基準①：環境配慮設計の実施状況（1／2）

目的	評価項目	201Z	202Z	203Z	301Z
リデュース配慮設計	製品等の省資源化	◎	◎	◎	◎
	製品の省電力化	◎	◎	◎	◎
	製品の長寿命化	◎	◎	◎	◎
リユース配慮設計	共有化設計	◎	◎	◎	◎
	分離・分解しやすい設計	◎	◎	◎	◎
リサイクル配慮設計	リサイクル等の環境負荷低減	○*2	○*2	○*2	◎
	分離・分解しやすい構造	○*2	○*2	○*2	◎
	分別の容易性	◎	◎	◎	◎

*2：インサート成形キャビネットを採用しております。

判断の基準①：環境配慮設計の実施状況（2／2）

目的	評価項目	かんたん携帯 8	303ZT	304ZT
リデュース配慮設計	製品等の省資源化	◎	◎	◎
	製品の省電力化	◎	◎	◎
	製品の長寿命化	◎	◎	◎
リユース配慮設計	共有化設計	◎	◎	◎
	分離・分解しやすい設計	◎	◎	◎
リサイクル配慮設計	リサイクル等の環境負荷低減	○*2	○*2	○*2
	分離・分解しやすい構造	○*2	○*2	○*2
	分別の容易性	◎	◎	◎

*2：インサート成形キャビネットを採用しております。

© SoftBank Corp. All rights reserved.

メーカ別詳細項目

ZTEジャパン株式会社（2）

配慮事項①:省エネルギー化について

省電力化等を推進しております。

配慮事項②:希少金属類の削減について

希少金属類の使用削減を推進しております。

配慮事項④:ハロゲン系難燃剤の削減について

対応機種については、ハロゲン系難燃剤非含有の材料を使用しております。

配慮事項⑤:再生プラスチックの使用

再生プラスチック使用を推進しております。

配慮事項⑥:包装に関する配慮

包装軽量化設計を推進しております。

配慮事項⑦:包装材等の再使用について

対応機種については、包装材に約80%再生材料を使用しております。

© SoftBank Corp. All rights reserved.

メーカ別詳細項目

5.5.1

セイコーソリューションズ株式会社（1）

判断の基準①：環境配慮設計の実施状況

目的	評価項目	301SI	Photo Vision TV2
リデュース配慮設計	製品等の省資源化	◎	◎
	製品の省電力化	◎	◎
	製品の長寿命化	◎	◎
リユース配慮設計	共有化設計	◎	◎
	分離・分解しやすい設計	◎	◎
リサイクル配慮設計	リサイクル等の環境負荷低減	○*1	○*1*2
	分離・分解しやすい構造	◎	○*2
	分別の容易性	◎	◎

*1：希少金属31種は一部のみの把握となっております。
*2：インサート成形キャビネットを採用しております。

© SoftBank Corp. All rights reserved.

メーカ別詳細項目

5.5.2

セイコーソリューションズ株式会社（2）

配慮事項①：省エネルギー化について

省電力化等を推進しております。

配慮事項②：希少金属類の削減について

希少金属類の使用削減を推進しております。

配慮事項④：ハロゲン系難燃剤の削減について

対応機種の筐体については、ハロゲン系難燃剤非含有の材料を使用しております。

配慮事項⑤：再生プラスチックの使用

現在は強度の問題から未使用ですが、使用を推進しております。

配慮事項⑥：包装に関する配慮

包装軽量化設計を推進しております。

配慮事項⑦：包装材等の再使用について

対応機種については、包装材に再生材料を使用しております。

© SoftBank Corp. All rights reserved.